



津奈木中  
学校便り  
No. 11

# 夢実現・挑戦

令和6年3月4日  
津奈木町立津奈木中学校  
校長 高橋 裕二

## 2年立志式、稚心を去り、人間的成長を!!

2月3日(土)、2年PTA学年行事の立志式がありました。私は体調を崩し、残念ながら参加できませんでしたが、その時に倉岡教頭先生に話してもらった内容を紹介します。

「稚心を去る」という言葉について説明します。この言葉は、15歳にして『啓発録』を執筆し、幕政の改革を訴えた福井藩の橋本左内という人が残した言葉です。1859年大老となった井伊直弼により安政の大獄が始まり、その結果、橋本左内は26歳の若さで命を落とすことになりました。

橋本左内は、夢や希望、目標を達成するため、13、14才になったら大人に頼るような「子供っぽい心を捨て去る」こと、言い換えると「稚心を去る」ことだと考えました。「稚心」は、様々な解釈ができると思います。例えば、



【2月 性教育講演会】

・自分のことばかり考え、他人への思いやりや配慮が足りない

・勉強や宿題など、やらなければならないことはしない

・スマホやゲーム、趣味、部活動など、自分の好きなことや楽しいことだけする

などではないでしょうか。立志式を機会に2年生は稚心を去り、今、自分ができていないことや力を抜いていることを、見直し改善してほしいです。

以上のことを2年生にお願いしました。稚心を去ることは、人間的成長につながり、生徒たちの夢や目標の実現につながると思います。

人間的成長とは、人格を高めるのはもちろんのこと、自分のことだけでなく、友達や学級のことまで考えた言動ができる人のことと、私は思っています。プロ



【1年 寒漬け大根の販売】

野球の元監督・野村克也さんは、「人間的成長なくして、技術的進歩なし」と言われました。

## 熊本県学力・学習状況調査の結果及び分析

12月に実施された1・2年対象の県学力調査の結果が分かりました。あくまでも学力の一側面ですが、生徒への指導や先生方の授業改善などに生かしていきたいと思えます。

【総合平均正答率(%)】 ※数値は小数第1位を四捨五入

	1年			2年		
	国語	数学	英語	国語	数学	英語
熊本県	62	55	51	68	50	46
本校	63	61	61	65	52	52
昨年度からの伸び				+5	+14	+9

※伸びは、県平均を100とした時の昨年度と今年度の比較

### 【学力の状況】

- 県平均と比べて、国語はほぼ同程度であり、数学と英語は上回った。4月の標準学力検査では、1・2年も全国平均を下回っていたので、学力が改善した。
- 2年は、昨年度と比較して学力の伸びが見られた。
- 1・2年もとも県平均と比べて、「知識・技能」の観点が高く、また、正答率3割未満の割合は少ない。
- 先生方の授業改善に加え、学習内容の定着のために週1回程度の小テストや、朝自習プリント、基礎学力テスト、月2回程度のつなぎタイム(25分間の基礎基本の取組)など、組織的な取組が成果に表れた。
- 全体的に「思考・判断・表現」「主体的な態度」の観点は県平均を下回った。基礎に比べ活用が課題である。

### 【生徒質問紙調査】

- 平日1日2時間以上、家庭学習をする生徒は約49%で、県より約18ポイント高かった。
- 「家庭で1週間に何日勉強するか」の問いに、「ほとんどしない」と回答した生徒が約14%であった。
- 平日1日3時間以上、テレビや動画、インターネットをする生徒は約28%で、県より少ないが課題である。

### 【今後の対策や取組】

- ◇思考力を育成するために、全教科の授業で、生徒に「自分の考え」をもたせ、「表現する場面」を設定する。
- ◇宿題や自学ノート、提出物などの見取りを徹底する。

1月、玄関の水槽に金魚が1匹しかいないことに気づきました。それまで事務室の杉本先生が毎日、餌をやっていました。休日、お店で金魚を3匹買い、指示されたように3時間かけ、袋の中の金魚に水槽の水を少しずつ混ぜていきました。

それからは、朝出勤した時や気分転換に金魚を見るのが楽しみになりました。しかし、2月中旬、水槽を浄化する機械が故障してしまい、しばらく水をきれいにできませんでした。すると、金魚に白い点がついているのを見つけました。

その後毎日、杉本先生と少しずつ水を交換して薬を入れました。金魚の生命力に期待しています。